



## 想定外の被害に備えて

ファーム紙屋は、地元の27戸の農家で構成された法人です。水稲10<sup>ヘクタール</sup>、麦5<sup>ヘクタール</sup>、大豆5<sup>ヘクタール</sup>、アスパラガス6<sup>アール</sup>を栽培しています。

昨年12月下旬の大雪で、4棟あるうちの3棟のハウスがつぶれ、残りの1棟も半分つぶれてしまいました。雪に備えて竹やワイヤーで補強していたのですが、昨年は水分を多く含んだ重い雪が例年にないほどよく降りました。想定を超える大雪で、今までで一番大きな被害でした。

共済金を活用して、今年4月に新しいハウスを建てました。水稲の育苗ハウスとして使う予定です。

現在、収入保険にも加入しています。今後もNOSAIの保険で被害に備えながら頑張っていきたいです。

(広報紙「NOSAI広島」2023年 第38号より)

三次市和知町  
農事組合法人 ファーム紙屋  
代表 西口 啓司さん (68歳)